

World Vision

Closure report 2021

終了報告書

タイ王国

タプラヤ地域開発プログラム

THA-191642 (2009年～2021年度)



ありがとうございました

皆さまのご支援により、人々が変わり、地域が変わりました

9年間の義務教育課程の
卒業率

2020年



年収23,000バーツ
(生活に必要な最低限の額)を
超える世帯

2011年

2015年



産前ケアを受ける
妊婦の割合

2018年



Education



教育

教育環境が整い、
就学率も学力も
向上しました

タブラヤ地域はカンボジアとの国境に面しています。仕事を求めてカンボジアから移住してきた家庭の子どもたちは、タイ語の知識がなく、勉強についていけませんでしたが、また、貧しい家庭では、親が教育の重要性を理解しておらず、働きに出ている子どもたちも数多くいました。支援を通じ、地域住民や保護者に教育の重要性を伝える啓発活動や、タイ語が苦手な子どもたち対象の読み書き講習、早い段階で学習習慣を身につけるための就学前教育の充実、子どもたちの学力向上のための教員向けの研修などを行ってきました。上級生が下級生を教える制度も導入され、子どもたちが切磋琢磨した結果、272人の子どもたちの読み書き能力が向上しました。教育の重要性の理解と、学力アップのための活動が実を結び、義務教育課程の卒業率やタイ政府による学力試験の合格率を向上させることができました。

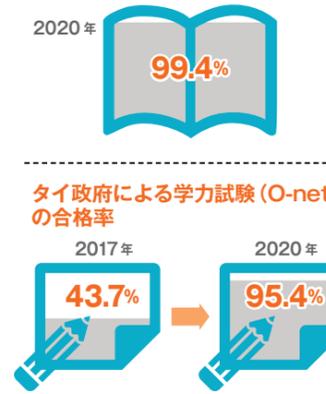


支援前
カンボジアの子どもたちは勉強についていけないため、国境を越えて学校に通っていました



支援後
先生たちが自分で教材を作るようになり、子どもたちは学習に関心を持つようになりました

成果 9年間の義務教育課程の卒業率



マネージャーよりごあいさつ



タブラヤ地域
開発プログラム
マネージャー
パッタポン・
カイヤシット

長きにわたるご支援に、感謝申し上げます。以前は、読解力やライフ・スキル*が身につけていない子どもたちや、収入が十分でない家族が数多くいました。ご支援により、家族の収入は上がり、子どもたちはさまざまな能力を身につけ、未来に向かって努力できるようになりました。ここでタブラヤ地域の支援は終了となりますが、地域の人々は支援を通じて身につけた能力で地域をより良くしていくことができます。これからは、皆さまの支援を待っている、厳しい環境に暮らすほかの地域の子どものためにご支援いただければ幸いです。

* 問題解決、対人関係、意思決定、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術

Economic Development



生計向上

地域内の仕事で
生計を立てられるよう
になりました

地域住民の9割が農業で生計を立てていましたが、毎年のように起こる干ばつで生産性が落ち、家計をまかなえていませんでした。そのため、収入を得るために子どもを働かせる家庭も珍しくありませんでした。支援を通じ、養豚や養鶏、キノコ栽培などの生計手段の多様化のための研修や、干ばつ対策のための水管理計画や貯水池建設、農業生産性向上のための技術研修などを行ってきました。支援当初は世帯年収が23,000パーツ(最低限の額)を超える世帯は1割もおらず、9割以上の世帯が最低限の生活もできていない状況でしたが、2015年には、地域の平均世帯年収が62,120パーツにまで向上しました。また、職業訓練校に必要な資材の支援を行い、子どもたちが将来働くために必要な能力を身につけ、卒業後安定した収入を得られるようになりました。

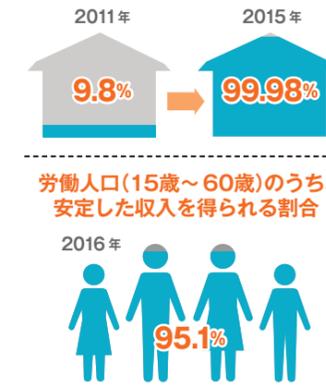


支援前
水不足のため収穫量は限られており、農業のみで生計をたてることは非常に困難でした



支援後
子どもたちは職業訓練校で織布を習い、将来安定した収入を得られるようになりました

成果 年収23,000パーツ(生活に必要な最低限の額)を超える世帯



Health



保健・ 栄養改善

保健ボランティアを
中心に、保健衛生環境を
改善しています

以前は、地域住民の健康への知識は十分とは言えず、常に感染症の脅威にさらされていました。また、安全な飲料水を入手することが難しく、不衛生な水を原因とする病気も多く見られていました。支援を通じ、病気の予防や対処、感染症拡大の防止、食生活や衛生習慣の啓発、新生児や妊婦、障がい者のケアなどができるよう、保健ボランティアを育成し、地域の中で自分たちの健康を支えていけるよう、能力強化を行いました。結果、ボランティアたちは地域住民に学んだことを伝え、地域全体が保健衛生の知識を身につけ、対処できるようになりました。また、予防接種推進のイベントや虫歯予防キャンペーンでは子どもたちが自らメッセージを発信し、多くの人々の注意を喚起することができました。

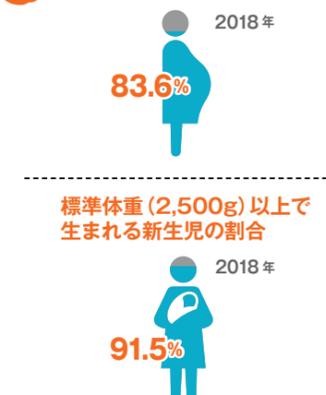


支援前
衛生的な水を得られず、感染症の原因となっていました



支援後
母親たちは、保健ボランティアから乳児のケアについて学びました

成果 産前ケアを受ける妊婦の割合



Child Protection



子どもの保護

子どもの権利や保護に
理解のある地域に
なりました

支援当初、地域では子どもの権利や保護への関心は低く、保護者も子どもたちのケアを十分にできていませんでした。また、地域住民も周りのために働いたり、互いに助け合ったりする意識が弱く、子どもたちは地域社会から取り残されていました。支援を通じ、子どもクラブや青少年グループを設立し、子どもたちや若者が自分に起こりうる問題や、その対処方法、ライフ・スキルなどを学ぶことができました。また、子どもたち主体で地域での啓発活動を行い、保護者や地域住民は子どもの保護や権利、子どもたちを支援する方法を学ぶことができました。青少年グループでは社会奉仕活動に取り組み、メンバーの自尊心や意思決定をする力、そして責任感の向上につながっています。子どもの保護のための働きは自治体にも浸透し、子どもたちに影響のある政策を策定する際には、子どもたちの意見も聞かれるようになりました。



支援前
親の出稼ぎにより、子どもたちは十分なケアを受けていませんでした



支援後
若者たちは、助け合いながら生活することや、日頃の問題への対処方法を学びました

成果 子どもクラブや青少年グループに参加し、学んだ子どもたち(累計)



地域代表者からのごあいさつ



地方自治体メンバー
サングウイアン・
ブロンジュンバン
氏

タブラヤ地域のためにご支援くださった皆さまに、地域を代表して心から感謝いたします。以前は、子どもたちの多くが非行に走り、生活も荒れていました。子どもの保護の活動により、地域のリーダーや保護者が知識を身につけ、子どもたちの価値を理解し、子どもたちの声を聞くようになりました。その結果、子どもにとって安全な地域になることができました。支援を通じ、私たちが子どもたちや地域のためにすべき行動がわかるようになりました。行政の立場から、子どもたちの安全と地域を守るために活動していきたいと思っております。素晴らしい機会をくださった皆さまに、御礼申し上げます。

皆さまとともに歩んだ13年間の支援と成果

準備期
2009年度
▼
2010年度

- ◎ 地域の環境、課題や、地域住民の生活状況を調査
- ◎ 調査結果から、支援計画の策定
- ◎ 支援計画実行のために、地域住民によるプロジェクト委員会を設立



地域の課題について話し合う子どもたち



地域の課題について話し合う地域住民

第1期
2011年度
▼
2014年度

- ◎ 農業生産性の向上のために有機肥料の作り方や土壌管理についての研修を実施
- ◎ 農業以外の収入を得られるよう職業訓練や、収入向上のためのグループを形成
- ◎ 子どもたちが教育を受けられるよう、地域や学校の環境整備と、ライフ・スキル研修の実施
- ◎ 健康状態の維持のため、病気や感染症の予防方法に関する研修や予防接種や虫歯予防のためのキャンペーンの実施
- ◎ 妊産婦や乳幼児の健康管理や研修を実施
- ◎ 障がいのある人々の権利について地域住民への啓発活動を実施
- ◎ 地域の水不足解消のため、貯水池を建設
- ◎ 幼児教育のための教師の能力強化を通じ、教師の教授法を向上



灌がい設備と支援を受けた米種により、たくさん収穫できるようになった農家



地域の水不足解消のために話し合う地域住民

第2期
2015年度
▼
2018年度

- ◎ 子どもたちが自分たちの権利と保護について学ぶ青少年グループの形成
- ◎ 保護者対象に、子どもの教育の重要性を伝える研修の実施
- ◎ 若者や障がい者への職業訓練を支援する団体の設立
- ◎ 病気や感染症の重症化を止めるための、予防に関する研修の実施
- ◎ 妊産婦や乳幼児の健康管理や研修を実施
- ◎ 農業生産性の向上のための支援や、収穫期後に収入を得るための職業訓練の実施



保健ボランティアが家庭訪問をしている様子



養鶏を始め、栄養面でも収入面でも改善された家庭

第3期
2019年度
▼
2021年度

- ◎ 貯水タンクや浄水器を設置
- ◎ 子どもクラブの設立と、青少年リーダーの育成を通じ、地域の問題を子どもたちの視点で改善できるよう支援
- ◎ 新型コロナウイルス感染症対策の一環として、学校や地域への予防啓発活動と、マスク手指消毒液、石けん、救急バッグ、衛生キットなどを支援
- ◎ 現地政府、教育委員会などとのプロジェクト終了後の活動計画や展開について話し合い



今後の運営計画立案のための会議



衛生キットの支援を受けた学校の様子

支援を受けたチャイルドのストーリー

皆さまのご支援により、警察官になる夢を見つけることができました！

スメトスさん
(21歳)

21歳のスメトスさんは、両親と2人の兄、姉の6人家族です。現在、警察訓練生として勉強しています。支援を受ける前は、お父さんもお母さんも安定した仕事がなく、経済的に厳しい状況でした。

「チャイルド・スポンサーシップの活動に参加し、私も家族も大きく変わることができました。両親は野菜の栽培や養鶏のための支援を受け、私たち兄弟は学校に通うことができました。また、私はさまざまな研修を通じ、考える力、表現力、意思決定などの能力を身につけ、人生の選択ができるようになりました。警察官になる夢を持てるようになり、現在は警察訓練生として勉強しています」

「私たちを支えてくださったスポンサーの方には、本当に感謝しています。支えてくださったおかげで、私たち自身も、家族同士お互いに思いやりを持てるようになりました。また、さまざまな研修によって家族全員が技術を身につけ、成長することができました。家族みんな、良い人生を送ることができています。ありがとうございました」

